

血管炎・点滴漏れ



抗がん剤を点滴する場合、医師、看護師ともに細心の注意を払っておりますが、もし点滴漏れに気づきましたら、すみやかに医療スタッフに申し出てください。

点滴が血管から外に漏れた場合、発赤、むくみ、違和感が起こり、悪化すると皮膚に潰瘍を作る場合があります。

症状

点滴を受けた部位が痛くなったり、腫れたり、赤くなったり、熱く感じたりします。

予防と対策

- ・ 漏れた抗がん剤の種類や量によって、処置の方法が異なります。どういう処置をうけるのか、どういう症状に注意し、どういう症状の時に連絡しなければならないかを医師や看護師から聞いておきましょう。
- ・ 皮膚の症状が強くなるようであれば、すぐに連絡してください。
- ・ 2週間以上経っても、赤みや痛みが治らなかつたり水腫れが出来たりした場合は、できるだけ早く連絡してください。
- ・ 抗がん剤の種類によって、漏れてすぐに症状が出てくるものや、数時間～数日後に症状が出てくるものもあります。点滴をした後に、その付近の皮膚が痛くなったり赤くなったりした場合は、医師の診察を受けてください。

